

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長尾雅司

(氏名) 十亀 猛

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,756	21.7	1,466	36.9	1,494	49.0	1,067	49.8
29年3月期第2四半期	6,372	8.4	1,071	11.3	1,003	8.3	712	38.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,169百万円 (73.7%) 29年3月期第2四半期 673百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	104.42	104.38
29年3月期第2四半期	69.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	20,189	12,743	63.0	1,246.66
29年3月期	17,279	11,907	68.9	1,164.87

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,719百万円 29年3月期 11,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	35.00	35.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,000	3.4	2,650	4.2	2,600	3.6	1,800	176.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,000,000 株	29年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,777,924 株	29年3月期	3,777,874 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	10,222,105 株	29年3月期2Q	10,222,270 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想の将来の予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国において、個人消費と企業の設備投資が引き続き堅調に推移し、欧州や中国においても、緩やかな景気の回復基調が続きました。また、国内経済は、こうした世界経済の動きを受けて、輸出や設備投資が増加傾向にあり、企業業績が順調に推移するなかで、雇用・所得環境の改善により個人消費にも持ち直しが見られました。

このような経済環境の下、当社グループは「お客様の望む時に、望むモノを、望むコストで」お届けすることに強いこだわりを持ち、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」の実現に向けて、これからも全社一丸となって邁進して参ります。

販売面では、当社グループの主な市場である半導体、液晶製造装置関連市場におきましては、引き続き積極的な設備投資の拡大に伴って受注量が拡大し、工作機械、産業機械、建設機械市場におきましても、順調に推移しており、前年同期の売上高を大幅に上回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は77億56百万円（前年同期比21.7%増）となり、営業利益は14億66百万円（前年同期比36.9%増）、経常利益は14億94百万円（前年同期比49.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億67百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下2事業部を報告セグメントとしております。

(C P 事業部)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けの継手及びクリーンなバルブ等を生産しており、受注が前年を大幅に上回ったため、売上高は44億41百万円（前年同期比30.0%増）となり、セグメント利益は14億67百万円（同36.8%増）となりました。

(G P 事業部)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しており、重点市場である産業機械・工作機械市場向けは、需要の回復もあり、売上高は31億30百万円（前年同期比9.8%増）となりました。セグメント利益は9億8百万円（同15.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで5億6百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで2億27百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで14億24百万円のプラスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より17億7百万円増加し48億4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は5億6百万円（前年同期は8億58万円）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上14億94百万円、売上債権の増加による7億40百万円の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は2億27百万円（前年同期は3億17万円の支出）となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による3億16百万円、無形固定資産の取得による27百万円、保険積立金解約による収入1億13百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、得た資金は14億24百万円（前年同期は6億27百万円の支出）でありました。この主な要因は、長期借入金の収入による20億円、長期借入金の返済による2億22百万円、配当金の支払いによる3億53百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,096	4,804
受取手形及び売掛金	4,090	3,784
電子記録債権	920	1,967
商品及び製品	342	331
仕掛品	490	601
原材料及び貯蔵品	888	909
繰延税金資産	79	205
その他	228	248
流動資産合計	10,137	12,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,428	1,602
機械装置及び運搬具（純額）	655	722
土地	2,164	2,164
建設仮勘定	108	40
その他（純額）	51	50
有形固定資産合計	4,409	4,580
無形固定資産	248	268
投資その他の資産		
投資有価証券	1,962	2,107
長期貸付金	12	7
関係会社長期貸付金	31	21
生命保険積立金	84	—
繰延税金資産	280	239
その他	112	113
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,483	2,488
固定資産合計	7,141	7,336
資産合計	17,279	20,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	756	709
短期借入金	454	847
未払金	278	320
未払法人税等	495	600
役員賞与引当金	43	—
賞与引当金	—	323
その他	218	143
流動負債合計	2,246	2,945
固定負債		
長期借入金	1,395	2,781
退職給付に係る負債	1,251	1,256
長期末払金	—	233
役員退職慰労引当金	249	—
資産除去債務	70	70
長期預り保証金	158	158
固定負債合計	3,125	4,500
負債合計	5,371	7,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	12,452	13,162
自己株式	△2,992	△2,992
株主資本合計	11,643	12,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	316
為替換算調整勘定	48	49
その他の包括利益累計額合計	264	366
新株予約権	—	24
純資産合計	11,907	12,743
負債純資産合計	17,279	20,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,372	7,756
売上原価	4,375	5,255
売上総利益	1,997	2,500
販売費及び一般管理費	926	1,034
営業利益	1,071	1,466
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	21
為替差益	—	3
複合金融商品評価益	43	—
受取保険金	—	41
保険解約返戻金	—	26
その他	9	6
営業外収益合計	72	99
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	56	—
売上債権売却損	1	1
複合金融商品評価損	—	1
持分法による投資損失	68	14
支払補償費	—	39
その他	6	7
営業外費用合計	140	70
経常利益	1,003	1,494
特別損失		
投資有価証券売却損	13	—
特別損失合計	13	—
税金等調整前四半期純利益	990	1,494
法人税、住民税及び事業税	394	557
法人税等調整額	△116	△129
法人税等合計	277	427
四半期純利益	712	1,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	712	1,067

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	712	1,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	100
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	1
その他の包括利益合計	△39	102
四半期包括利益	673	1,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673	1,169

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	990	1,494
減価償却費	153	142
持分法による投資損益(△は益)	68	14
保険解約返戻金	—	△26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△49	5
長期未払金の増減額(△は減少)	—	233
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15	△249
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	△43
賞与引当金の増減額(△は減少)	312	323
株式報酬費用	—	24
投資有価証券売却損益(△は益)	13	—
複合金融商品評価損益(△は益)	△43	1
受取利息及び受取配当金	△20	△21
支払利息	8	6
為替差損益(△は益)	29	△3
売上債権の増減額(△は増加)	△265	△740
たな卸資産の増減額(△は増加)	32	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△54	△46
未払消費税等の増減額(△は減少)	51	△63
未払金の増減額(△は減少)	△52	47
その他	8	△45
小計	1,166	934
利息及び配当金の受取額	20	21
利息の支払額	△8	△6
法人税等の支払額	△319	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	858	506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113	△316
無形固定資産の取得による支出	△44	△27
投資有価証券の取得による支出	△206	△3
投資有価証券の売却による収入	70	—
保険積立金の積立による支出	△3	△3
保険積立金の解約による収入	—	113
関係会社貸付けによる支出	△26	—
長期貸付金の回収による収入	4	11
長期貸付けによる支出	△6	△2
その他	8	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△383	△222
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△243	△353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627	1,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115	1,707
現金及び現金同等物の期首残高	3,828	3,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,713	4,804

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P 事業部	G P 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,412	2,849	6,261	110	6,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	0	3	—	3
計	3,415	2,849	6,264	110	6,375
セグメント利益	1,072	784	1,857	46	1,903

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,857
「その他」の区分の利益	46
セグメント間取引消去	△1
全社費用 (注)	△846
棚卸資産の調整額	15
四半期連結損益計算書の営業利益	1,071

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,437	3,130	7,567	189	7,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	4	—	4
計	4,441	3,130	7,571	189	7,760
セグメント利益	1,467	908	2,376	47	2,423

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,376
「その他」の区分の利益	47
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△964
棚卸資産の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,466

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントの区分を「CP事業部」、「GP事業部」、「IPEC事業部」の3つの事業部別報告セグメントとしておりましたが、平成29年5月21日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、「CP事業部」、「GP事業部」の2つの事業部別報告セグメントに変更することとしました。

「IPEC事業部」に含まれていたIPEC静岡事業所は「CP事業部」に、「IPEC事業部」に含まれていたIPEC岐阜事業所は「GP事業部」になります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。